

幸島地区安全・安心 ネットワークだより

発行：幸島地区安全・安心

ネットワーク事務局

事務局：岡山市東区西幸西230

TEL. 090-4143-3577

水難救助訓練施設で風水害体験

9月27日（土）幸島地区町内会長と幸島消防団員24名が岡山市消防教育訓練センター内の「水難救助訓練施設」で風水害の体験をしてきました。

この施設では流水歩行、水圧自動車ドア、水圧ドア、風雨の4つの体験と、展示物と映像による学習ができます。まず、研修室で岡山市の過去の被害について防災啓発映像と職員の講話で学習しました。その後、参加者が3つのグループに分かれ上記4つの体験をしました。

流水歩行体験は、洪水時に道路等を歩く場合を想定したものです。水深30cmと50cmの流水の中を歩きました。50cmの水深では歩くときに相当の抵抗を受けました。流れに向かって歩くより、後ろから流れが来るときのほうが注意が必要でした。

水圧自動車ドア体験は、冠水した道路での車からの脱出です。車のドアがどのくらい水に浸かるかによってなんとかドアが開く場合と、全く開かない場合があることが分かりました。ただし、車の外と中の水深が同じになれば少ない力で開きました。

風雨体験は、風速20mの強風と雨量100mmの降雨を体験します。風だけの場合はなんとか歩けますが、風と雨が一緒になると雨の影響で前が見えにくくなり、歩行が困難になります。飛来物があった場合は危険です。

水圧ドア体験は、家屋浸水時に家のドアにかかる水圧によって開けにくさを体験します。推進30cmなら何とかドアが開きますが、水深50cmになると相当の力が必要でした。

テレビで各地の風水害の様子を目にしますが、実際に模擬体験してみると、今までは「よそ事として見ていた」と思いました。「百聞は一見にしかず」ではなく、「百見聞は一体験にしかず」だと思いました。講師役の消防職員の方は、「勇気をもって早めの避難が重要」と話されました。



水圧自動車ドア体験



風雨体験



流水歩行体験

